

まつうら 市議会だより

第51号

令和元年8月1日

編集・発行

広報特別委員会

電話 (0956) 72-1111

令和元年度一般会計補正予算12億1997万円を可決

鷹島小中学校校舎新築事業費が計上されました。

**6月
定例会**

【福島町 いろは島の朝日】



まつうら市議会だよりは再生紙を使用しています。

令和元年 6月定例会

令和元年6月定例会を、6月14日(金)から6月26日(水)までの13日間で開きました。

今回の定例会では、松浦市手数料条例の一部改正など条例3件、令和元年度各会計補正予算3件、その他の議案8件及び請願1件の合計15議案が上程され、いずれも原案のとおり可決及び採択いたしました。

最終日には、議員提出議案1件が上程され、原案のとおり可決いたしました。

(※議案等の審議結果については、12ページに掲載)

会期日程

6月
14日(金)

本会議

▽会期の決定

▽議長の報告

▽市長の市政概況報告

▽文教厚生委員会の中間報告

▽議案の上程・説明・審議・

主管委員会付託

▽請願の受理報告・主管委員

会付託

▽陳情の受理報告

15日(土)・16日(日)

休会

17日(月)・20日(木)

本会議

▽一般質問

20日(木)・21日(金)

委員会

22日(土)・23日(日)

休会

24日(月)

委員会

25日(火)

休会

26日(水)

本会議

▽主管委員会付託案件の審査

・報告・採決

▽議員提出議案の上程・説明

・審議



議会の傍聴に

おでかけください。



次の定例市議会は

9月です。

議会はインターネット中継でもご覧いただけます。

松浦市公式ホームページを通じて生放送しますので、ご自宅のパソコン、スマートフォン等で視聴が可能です。

また、編集が終わりましたら、録画映像の配信も行います。

松浦市公式ホームページアドレス

<https://www.city-matsura.jp/>

お問い合わせは

議会事務局へどうぞ

TEL(0656)72-1111

一般質問

一般質問は、市政全般にわたる議員が執行者の考えを質すものです。本市議会では、議会運営上1人当たりの質問時間は、60分以内(答弁と関連質問を含む)という取り決めになっています。

今定例会では、6月17日から20日までの4日間で14人が質問を行いました。

市議会だよりは、紙面の都合により質問項目のうち2項目以内で要点を簡略にまとめて掲載しています。(登壇順)

詳しくは、松浦市公式ホームページで公開する会議録または次の場所に備えている会議録をご覧ください。

- 市役所議会事務局
- 市役所各支所・出張所
- 市立図書館
- 市立公民館

一般質問

川下
議員

○松浦高校支援の現状とこれからについて

質 松高支援の目的と今年度の予算額について

政策企画課長 高校がなくなること、地域が疲弊し人口減少が進む要因となります。高校存続に向けて生徒の保護者負担の軽減を図るとともに、松浦高校の魅力向上の取組を支援することで、生徒を確保し、卒業後に松浦へ貢献できる人材として松浦への還流を促進することです。今年度の予算額は1500万円です。

質 今年度の入学者数が昨年一昨年と比べると激減しているが市長としては支援の効果についてどのような認識を持っているか。

市長 松浦高校支援策の導入後、入学者数が増えている状況にあります。卒業生からは、市の支援に対するお礼の手紙を頂いており、郷土愛の醸成や将来的な本市への還流促進に繋がるもので、一定の効果を上げていると考えています。

質 市長には校長先生とともに強い連携で取り組んでもらいたいと思うが、市長の考えは。

市長 松浦高校と佐世保3校の卒業後の進路を調査した結果、あまり変

わらないのではというデータを得たため、中学校長と共有しています。また、松浦高校の生徒に未来会議や総合計画を審議する委員として参加してもらっています。このような取り組みを通じて卒業生が松浦に定着し、又は帰ってきてもらう環境づくりを学校側と十分協議していきます。

質 広島県にある大崎上島町が支援する大崎海星高校は離島でありながら大幅に生徒数を増やしている。その中の1つに公営塾（放課後に生徒の学習をフォローアップするためのもの）の設置がある。本市も取り入れることを検討してはどうか。

政策企画課長 支援事業についてしっかり検証した上で、どのような支援が必要か判断したいと考えます。

○生徒が楽器を通して音楽を学べる環境の整備について

質 市内中学校の楽器が昭和時代のものでかなり古くなってきている。修理しても十分に直らない実情がある。吹奏楽部の生徒はこの状況の中でコンクールに臨んだり、慰問演奏をしたりしている。また保護者に余計な負担が掛かっている。市には計画のもと定期的な修理など適正な保管に努めるように求めたい。

教育総務課長 教材としての音楽備品を適正な状態で管理する義務があると考えており、現状を把握しながら、優先順位を判断して対応いたします。

一般質問

久枝
議員

○松浦炭鉱史の是正について

質 近い将来か、あるいは担当課長の在任中に松浦市の歴史について再発行の予定はあるのか。

地域経済活性化課長 今のところ計画はありません。

質 今回の青い海、誰が書かれたとは言いません。松浦市五代目の市長、故宮原一夫氏と書いてあるが、これは三代目の間違い。昭和33年5月、中島興業江口炭鉱の出水事故が発生し29名が犠牲、この件は合せていますが、犠牲者救出の方を含めて32名とあるが、31名の間違いである。中島興業ではなく、中興工業である。また別の「写真が語るまつうら今昔」では出水事故、昭和33年5月7日死者39名、これは本当に失礼な話で、松浦歴史を正確にしてほしい。

市長 今後そういった書物等を発刊する機会があるときには、十分に内容を検証する必要があると思います。

○県下一周駅伝に対する松浦市の対応について

質 毎年2月中旬の金、土、日と3日間県下11チーム42区間約407kmを1日14区間、平均136km、北松・松浦チームは佐々、小値賀、松

浦の混成チーム。松浦市は当初予算として15万円、北松体協5万、助成金として長崎新聞24万、寄附金として52万、北松・松浦陸上競技会役員の自腹で7万5千円。その中で本来は小学生選手には体調管理のために旅館に泊めるべきであるが、経費削減のために当日に保護者の方々が振り分けて県立競技場へ、学生等東京からの参加者に対しては、飛行機代は出るが、途中の弁当代や旅費は出なく赤字。伴走者3日間、監督始め多くのスタッフ、島原半島などの選手の配置や高速代やガソリン代等のことにどのように対処しているか。

生涯学習課長 県下一周駅伝は、郷土の誇りをもって35名の方が走られる、市民にとっても活力になる大会であると認識しています。経費については、関係者の皆さんから御相談があれば、十分精査させていただきます。対応できる分については検討していきたいと思っています。

質 最終日の反省会に市長と担当課の職員一人が参加で実質2テーブルで足りた。教育長、体育協会長、松浦、北松陸上協会会長、松高関係者等の参加がなかったことに対してどう思うか。

教育長 当日、別の用務のため出席できませんでしたが、今後はそういう機会があれば、選手、監督の皆さんへのお礼も込めて、できるだけ参加するよう努めます。

一般質問

武部
議員

○安全安心な街づくりについて

質 梅雨期防災について、災害に備え自助の意識や地域で助け合う共助をサポートするため、住民がとるべき行動を5段階で示した大雨洪水警戒レベルの運用について、わかりやすく説明してください。

防災課長

レベル1は警報級の大雨が降るおそれがある場合に、レベル2は大雨注意報や洪水注意報の場合に気象庁が発表します。レベル3は河川の氾濫警戒、大雨・洪水警戒レベルで、避難準備・高齢者等避難開始を、レベル4は避難勧告、避難指示を、レベル5は既に災害が発生している状況等で市民に命を守るための最善の行動をとっていただくもので、市が発表します。

質 迷惑電話防止機器の貸出しについて、巧妙化した詐欺事件が多発しています。高齢者の被害防止策として機器の貸出しとその現状をお示ください。

市民生活課長

現在、市が保有している135台のうち、107台を貸し出しています。

○教育費無償化について

質 幼児教育・保育の無償化は、10

月の消費税引き上げからの実施と聞いているが、消費税が延期になって実施されるのか。松浦市保育所の現状と幼児教育・保育無償化の概要をお尋ねします。

子育て・こども課長

延期になった

場合の対応は、現段階で確定的に申し上げることは困難です。保育所では現在、待機児童は生じていません。制度の概要は、3歳から5歳児までの全ての児童と住民税非課税世帯の0歳から2歳児の幼稚園、保育所、認定こども園の保育料の無償化と就学前の障害児の発達支援の無償化が予定されています。

質 松浦市独自の施策として、0歳児から2歳でも第二子からは無償ですが、10月以降の幼児教育・保育無償後もこの施策は継続されるのか。

子育て・こども課長

利用者の負担

増とならないよう補助などの対策を今後とっていきたいと考えています。
質 給食費は市の施策として第二子無償化に含まれ実施しているが、今後はどうなるのか。保護者の負担感が生じないよう現状を維持できるように検討をお願いしたい。市長の答弁を。

市長

無償にすることで対応を考えています。なお、給食費無料といっても、副食費として徴収している分について無償で続けていきたいと考えています。

一般質問

和田
議員

○各地区版「松浦未来会議」の開催状況と第二次松浦市総合計画について

質 様々な社会的環境の変化が予想される今後10年間の松浦市の指針となる第二次総合計画に対する市長の思いをお聞かせください。

市長

可能な限り人口が減らないように、就業機会の創出、交流人口の拡大、結婚・妊娠・出産・子育てなど切れ目のない包括的な支援、移住戦略、安心して生活できる地域づくり、住環境の整備など、様々な施策を実施して、人口問題に対処していく必要があります。これまでの総合計画において想定されていなかった人口減少、そこから生じる諸問題について、市民の皆様とともに真正面から向き合い、持続可能な地域づくりについて真剣に考えていかなければならないと思っております。市民の皆様がまちづくりについて自分事として捉えていただき、参加してもらいたいと考えております。

○調川保育所の民営化にかかる諸問題について

質 来年の4月1日からの民営化を決めた理由についてお尋ねします。

子育て・こども課長 公立保育所の民営化を進める中、調川保育所を中核的保育所と位置づけ、市内唯一の公立保育所として運営をしてまいりましたが、行政改革の方針に基づき、また、施設の老朽化に伴う整備の必要性や正規職員の定年退職に伴い管理運営の見直しを図る必要性が高まったため、来年4月からの民営化の実施に取り組むこととしました。

質 今後も各分野で、民営化などが検討されると思いますが、公共サービスのあり方、市役所組織のあり方について、市長にお尋ねします。

市長

持続可能な形で公共サービスを提供し、その質を維持していくためには、今回の調川保育所のように必要に応じた民営化や外部委託、公共施設の統合、協働によるまちづくり、小学校区単位の地域運営組織の推進、市町村の枠を超えた圏域間での連携など、あらゆる視点から検討し、実行する必要があると考えております。財政規模の縮小への対応、組織のスリム化に向けては、職員的能力向上・スキルの習得とともに、業務の共通化、標準化を行った上で、自治体クラウドやAI、RPAなどの先進技術を活用するなど、より少ない人数で効率的に事務を処理する体制を構築しつつ、削減された費用や人的資源の一部を質の高い公共サービスの提供や新たな施策へ振り向けるなど、機能的、流動的な組織体制とすることが重要と考えております。

一般質問



谷口 議員

○地域経済活性化に向けた「アジフライの聖地」宣言後の本市の取り組みについて

質 4月27日、「アジフライの聖地」宣言を行った。メディア等でも取り上げられ、グルメ観光を推進してきた本市にとり大きな効果を生んだ。今後は、現在のブームから文化へと昇華させる取り組みが欠かせない。その一環として、交流人口が拡大する中で、提供店が集中する志佐中心部の駐車場等の受入れ体制整備に取り組む必要があるのではないか。

地域経済活性化課長 実際すぐ駐車場を整備するとなっても土地の問題等もある。商店街内の空き店舗や空きスペースの活用について所有者や商店街の皆様と一緒に検討していきたいと思います。

質 注目が高まった今、ぶどうやメロン、ふぐ、マグロ等の特産品も活かす工夫が必要である。また、経済効果を飲食店だけでなく、その他の商店や産業に波及させることが不可欠だと考えるが、本市の取り組みは、市長 観光客の皆様は商店街や道の駅やそれ以外の観光地へ足を運んでいた。プロジェクトチームを立ち上げた

と考えています。それを市内の店舗の皆様と共有し、互いに知恵を出し合い、関係機関と連携して農業、漁業の産品をPRして市全体が活気づくように取組を進めていきたいと思っています。

○地方税法改正に伴うふるさと納税に係る指定制度創設が本市へ与える影響について

質 6月1日から運用開始された指定制度の概要はどのようなものか。

政策企画課長 総務大臣が対象期間を通して指定基準に適合する自治体を対象団体として指定するということです。指定の基準は、返礼品について、返礼割合を3割以下とすること、総務省が示す地場産品基準を満たすこと、募集を適正にする（強調した宣伝広告を行わない。募集経費を寄附金額の5割以下とする。）ことの3点です。

質 重要な財源となっている中で、今後寄附獲得に向けた取り組みが欠かせない。本市の返礼品調達率、募集経費率ほどの程度か。また、新制度創設が本市へ与える影響はあるか。

政策企画課長 本市の平成30年度決算見込みの募集に係る経費率は58.9%です。新制度により大きな変更点はありませんが、経費を5割以内に抑えるため、新聞や雑誌、インターネット等の広告費を削減するといった努力をしています。

一般質問



立 鈴 議員

○児童虐待、家庭内暴力への未然防止対応施策の現状について

質 児童虐待及び家庭内暴力による痛ましい事件が起き、尊い幼い命が失われている。虐待としつけの判断ができない親の行動が起因とされる。成長過程の各年代における人間の尊厳、命の尊さ、親子関係の大切さ等を必然的に身に付ける環境のなさや危惧される。市は未然防止対策として、どのような施策を講じているのか具体的にお答えいただきたい。また、痛ましい事件が起きた場合の対応についての行動手順をお聞かせください。

子育て・こども課長 未然防止については、子どもを妊娠したときからお母さんや家庭に困り事がないかを保健師が聞き、個別のサポートをしています。切れ目のないよう、その後も家庭訪問をしたり、機会を捉えて保護者に寄り添うような支援をしています。また、教育委員会とも連携して各学校を訪問し、気掛かりな児童がいなか確認しています。そのようなことを察知した場合は、本人に確認したり、面接をして対応しています。

虐待が起きたときには、学校、警

察、児童相談所と一緒に対応していきます。できるだけ24時間以内に子どもの安否を確認し、家庭に帰せるような状況であれば保護者と呼んでお話を差し上げますが、帰すと大変危険な状態の場合は、一時保護等を児童相談所や警察と確認しながら進めているところです。

○ゴミ収集、分別全般における現状について

質 前回の質問において、山間地集落の高齢者の方の負担軽減に対応した新たな収集場所設置をすべきであると質問をしたが、早々に設置の対応がなされた。お礼を申し上げます。高齢化社会に対応した施策は大変重要である。ところで、最近ゴミ分別が悪い。意識の低下により適切な分別が行われないことは資源の損失であり、特にビニール、ペットボトルなどの散乱は地球環境に悪い影響を与えている。収集業者の方も苦慮されておられる。再度周知の徹底、広報をすべきと思うが考えを伺いたい。

市民生活課長 市の取り組みとしては、市報やホームページ等を活用し、ごみの分別や資源化への協力をお願いするとともに、各地区及び各団体の会合など、あらゆる機会を捉えて啓発活動に努め、モラルの向上に向けた取り組みを今後も進めていきたいと考えています。

一般質問

徳田
議員

○林業の推進について

質 海外で日本木材の需要が上っている。利用林齢に達している山林が多い。利活用はどう考えていますか。

農林課長

間伐材について伊万里木材に搬出し、随時、輸出に使っている状況です。皆伐すると山が裸になり、また、植替えのコストがかかるため、現在は長伐期施業で間伐を増やしている状況です。

質 固定資産台帳データによる森林台帳の整備促進ができませんか。

税務課長

税の情報を守る立場と公共事業に活かせる立場との兼ね合いを勉強したいと思います。

質

市の花「つばき」をテーマとした催しは市内に幾つあるか。また、市はどのように関わり、支援をしているのか。もっと支援できませんか。

地域経済活性化課長

つばき祭りです。これに後援として関わり、市報での情報掲載などに協力しています。民間の皆様がされているため、市が主導というよりは、側面から協力をもう少しできればと思います。

質 公共施設や公園、各家庭につきの植栽の推進ができませんか。

地域経済活性化課長

地域から声等が

あれば、緑の募金を活用した事業でできるのではないかと考えています。
質 旧福島町のつばきの特産品が衰退しているとの声を聴く。市で復活の支援ができませんか。

地域経済活性化課長

個人の事業に関わることで、御相談については伺いたいと思います。

○福島小中学校の整備及び改築事業について

質 運動場に屋外便所を作り、体育倉庫とプールも旧福島小学校から移転できませんか。

教育総務課長

体育倉庫と屋外トイレを併設する計画ですが、財政状況を考慮します。プール整備は他の施設整備を考慮しながら検討します。

質 校舎のひび割れに対する建設業者と交わした覚書が公表できないのか。

できないとしたらなぜできないのか。

教育総務課長

一般公開を前提とせず、特定の業者と取り交わした公文書で、松浦市情報公開条例の手続によらずには開示できません。

質 市は、「まだらに残ったひび割れの補修跡」をそのまま引き取って市民への説明責任はどうしますか。

市長

福島地区長会で御説明しています。改めて市民やPTAの皆様から説明を求められたら誠実に対応します。

一般質問

山崎
議員

○JANAがさき西海第5次中期経営計画と行政との関わりについて

質 6月27日に開催されるJANAがさき西海総代会で「第5次中期経営計画」が議決されると

- 1 支店の統廃合で御厨、上志佐、今福の支店・出張所が廃止
- 2 Aコープ店舗の閉鎖又は事業譲渡
- 3 販売手数料の増額

となります。

これは、地域住民の生活の利便性の低下と農家の生活を圧迫するだけの計画です。

松浦市内の農協の販売実績を見ても、販売手数料が1%上がると、松浦市の農家だけで毎年1800万円ほど農協に余計に払っていくこととなります。

松浦市には、農協の正組合員、准組合員が合わせて3700人ほどいます。その家族まで含めると、とても無視できる人数ではありません。そのようなことから、多くの市民が困ることなので、市長から又はJANAがさき西海管内の関係自治体に呼びかけ、総代会前に計画の見直しを求める働きかけはできませんか。

市長 農業協同組合は、農産物の安定生産や組合員の所得向上に向けた技術指導、経営指導に加え、金融事業や共済事業など組合員以外にとっても地域の暮らしを支える重要な役割を担っていただいています。そして、本市の農業振興にとっても欠くことのできない重要な事業体であると認識しています。

西海農協の第5次中期経営計画については、農協から、人口減少やマインナ金利政策など目まぐるしく変化する環境に対応し、地域農業の未来を支えるために地区別説明会等で組合員の御意見をいただきながら計画策定を進めていると伺っています。

農協は一つの経済団体でありますので、経営の中身について、市が何か介入する立場にはないと考えています。

しかしながら、農協の事業が市民の皆様にとって生活に密着している部分については、我々としても何とか農協のほうに御相談できないかと考えています。いずれにしても、市としては、組合員の皆様が地区別説明会あるいは総代会等で十分に御協議いただき、よりよい計画が策定され、農業所得の向上と地域の活性化に繋がるような議論を期待しています。皆様の代表が総代会という決議機関に臨まれますので、そこでのような方向性が出されるのかどうかと考えます。

一般質問



武 辺
議 員

○「幼児教育・保育の無償化」について

質 給食費の対応については従来通り保護者の負担とならないようにするとのことですが、現場の事務手続が煩雑になるのではないかと考えます。市としての現場への対応策は。

子育て・こども課長 現状をベースに混乱が生じないように、園と協議しながら、事務的な整理も同時に行っていくたいと考えています。

質 子ども・子育て支援に関するアンケート調査の結果報告をお願いします。

子育て・こども課長 子ども医療費助成について小学生以上の現物給付化、夜間や救急、休日などの医療体制の充実、施設整備（公園、雨天時の遊び場）、子育てに係る経済的負担のさらなる軽減を望む声が多くありました。

質 本市独自に実施していた保育料軽減策の財源は当然子育て支援に振り分けるべきだと思いますが、考えをお聞かせください。

市長 限られた財源の中でサービスを受けられる方に良く、市にとって効率的な対応ができるか、しっかりと内部で検討し、市民の声を反映させるよう努力します。

○松浦市教育振興基本計画の進捗管理状況について

質 新学習指導要領が来年度から実施されます。指導用デジタル教科書の導入が必至だと考えますが、導入の効果と各小中学校の要望等取りまとめ状況をお知らせください。

学校教育課長 児童生徒の学習への興味関心・集中力が高まる、プレゼンテーション能力が向上する、積極的に授業に参加するという効果があります。本学校長会からは全ての教科や特別支援学級への導入が望まれています。

質 予算化に向けての市長の考えをお尋ねします。

市長 導入に向け検討を行っていくたいと思っています。

質 登録有形文化財旧長醫家住宅主屋の活用については何か仕掛けが欲しいと思いますが、今後の活用策は。文化財課長 秋ごろに一般公開を計画しています。さらなる情報収集に努めます。

質 今年度が最終年度となる松浦市教育振興基本計画の総括をお願いします。

教育長 目標を達成したものが34件、約53%、改善しながら推移しているものが22件、約34%、進捗が不十分と思われるものが9件、約13%ありますが、今年度残りの期間で達成できるよう取り組んでいきます。

一般質問



宮 本
議 員

○調川港港湾整備事業について

質 調川港区域全体で現在約2500人、28000人の従事者が雇用されており、県北経済の一大産業拠点と考えますが、既存の水産加工団地は既に、完売状態にあり、水産関係以外の2社も隣地に用地を求めており、この区域を水産ゾーンと工業ゾーンに棲み分け整理し、民間の要望を実現すれば、さらに、事業拡大の民間投資と雇用拡大で新たな約1000人の雇用も期待されますが、大型プロジェクトと位置付けてでも積極的に進捗すべきと思いますが、市長の考えを。

市長 既存の水産加工団地は既に完売しており、新たな企業の進出及び既存企業が事業拡大をするための用地がない状況にあります。また、新たに用地を求めている企業の要望に応えられない状況にあります。

この状況をそのままにしておくわけにはいかないとことから、先月、松浦市として県に対して、松浦魚市場を核とした加工・物流拠点の整備に向けて要望活動を実施しました。こういったことが具現化、具体化していく中で、県北経済を担っていくための水産と工業の棲み分けが

可能か、また、用地確保等の対応ができるかを含めながら検討していきたいと考えています。

○松浦道の駅、海のふるさと館周辺の再開発の認識について

質 海のふるさと館は、松浦物産株式会社指定管理者制度として運営しておりますが、年間約60万人、70万人が入場しており、漁村体験学習センター横の空地と裏の空地も含んで再開発が叫ばれていますが、市の今後の方針について伺います。

市長 既に海のふるさと館周辺で漁村体験施設等を活用したイベント等を行う際に、駐車場が不足して停められない状況があります。この解消も再開発に当たっては大変解決すべき課題だと考えています。現時点では未整備の空地があるのでこちらへ誘導していますが、なかなか車が行かないという状況です。

裏の空地については、その活用をどうするかによって、現道や国道を結ぶ交差点との関連性というものを考えなければなりません。

今の空地をどのように活用していくかという課題があるので、解決する策を考えなければならぬ状況です。そういったものが整った上で、改めて検討していきたいと考えています。

一般質問

神田
議員

○松浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略のこれまでの実績と今後の施策について

【質】総合戦略に記載されている松浦市独自の推計による将来人口は、今後どのように推移していくのかお尋ねいたします。

【政策企画課長】 国立社会保障・人口問題研究所の数値では、2015年が2万3309人、20年が2万1403人、25年が1万9547人、30年が1万7767人、35年が1万6034人、40年が1万4358人、45年が1万2741人となっています。

【質】子育て世代や若年層をメインターゲットとして、本市の魅力や住みやすさの情報を地域外へ発信すると施策の方向性を示しているが、松浦市をどのようにアピールしてきたかお尋ねいたします。

【政策企画課長】 首都圏等で開催している移住相談会、イベント等に参加しています。

【質】婚活支援における具体的な事業についてお尋ねいたします。

【政策企画課長】 結婚希望者から登録をいただき、対面でお話したいただく機会や登録者に限らない婚活イベントを開催しています。

トを開催しています。

【質】総合戦略の第一期を今の段階でどのように評価され、今後どのような施策を打ち出していくかと思われているか、市長にお伺いいたします。

【市長】 「ひとの創生」について未だ事業効果が行き届いていないと考えています。これをどのように達成していくか、住民の皆様とともに知恵を絞っていききたいと考えます。

○赤潮被害に対する防止対策と今後の取り組みについて

【質】伊万里湾で発生した赤潮に対して、どのような対策をとられたのかお尋ねいたします。

【水産課長】 県の緊急支援策やガイドラインの策定に基づく調査体制の強化、防除剤の散布、餌どめの徹底などに努めました。

【質】養殖業者の安定経営を守るため、今後松浦市は県、漁協、養殖業者と連携をとりながら、どのような対策をとっていくのかお尋ねいたします。

【水産課長】 被害防止対策に最大限取り組みとともに、赤潮の解明や被害防止策を県に要望しています。

【質】一昨年のような甚大な被害を防ぐためにも、今後赤潮対策にドローン導入の必要性を感じるが、このことについてお尋ねいたします。

【水産課長】 広範囲の漁場をドローンで監視や再生するのは非常に難しいと考えられています。漁場の監視等別用途での活用を検討しています。

一般質問

山口
議員

○少雨による生活用水、農作物への影響と被害状況及び水確保支援について

【質】今年異常に雨が少ない。出水、湧き水頼りの簡易水道地区の生活用水への影響は出てないか。

【上下水道課長】 長期的な予測を踏まえ水運用を行った結果、生活用水への影響はありませんでした。

【質】今後施設の統合、整備、連携等安定供給対策はされているか。

【福島支所長】 福島町内は4箇所浄水場があり、それぞれ独自の水源から取水しています。現在ではこの4箇所の施設を改良し、浄水場間で原水を補完できるようにしています。

【質】早期水稻栽培の福島地区は、棚田が多く出水頼みの所も多い。水が出なくなったり、溜池も枯渇寸前の所もある。水田にならず植付け不能や田植え後枯渇し枯れた所も見られるこの状況を調査されているか。

【農林課長】 5月29日に県北地域農業振興協議会の第1回災害対策本部会議を開催し、県、共済組合、JA営農部長から報告を受け、情報共有しています。

【質】今後の支援策は検討されているか。

【農林課長】 水不足により作付できない

かったり収穫できなかったという減収の対応については、幾つかの補償制度があります。水稻においても農業共済組合から補償が受けられます。渇水対策についても市の事業が活用できると思っています。

○太陽光発電施設の農地（耕作放棄地）等への設置と税率について

【質】市内に太陽光施設は何箇所あるか。

【税務課長】 家庭用を除き90箇所です。償却資産の固定資産税は昨年いくらか入っているか。

【税務課長】 令和元年度における太陽光発電施設に係る土地の税額は約890万円、償却資産の税額は約5400万円となっています。

【質】農地の荒廃が問題となっている。近隣の市では、施設の設置箇所の固定資産税を30%に減税されている。市は造成や道路整備等の費用も必要ない。設置によって耕作放棄地解消、猪対策、農家の収入、さらに市の大きな税収に繋がる。設置箇所の固定資産税の減税見直しの検討の余地は十分にあるのではないか。

【税務課長】 太陽光施設用地の地目は雑種地です。雑種地には駐車場、資材置き場等といった用地もあります。これらの評価の公平性の観点から、一用途に限って評価額を下げることは考えていません。

このほかに、「交通空白地帯の解消、交通弱者支援について」質問しています。

一般質問



安江
議員

○市立診療所（福島診療所）の過去の問題について

質 市立診療所の方（A氏）から、次のような話が寄せられました。

「診療所で購入している薬の値段が高い。わざと高い値段で購入していて、例えば、薬価100円の薬を50円で仕入れ可能にもかかわらず、90～95円で仕入れていた。平成25年度までは競争入札など行われた形跡はなかったため、平成26年度からは、5社の競争入札に変え、納入価は50%前後に抑えられ、その結果、薬剤購入費が年間約2千万円減少している。言い換えるなら、単純に計算すると、7年間で約1億4千万円の損失を診療所・市に与えたことになる。これまで市に対してこれらの問題点を指摘してきたが報告書がしめされていない。」という内容でした。

前所長の問題点の指摘に対し、調査の有無、調査の全容はいかがか。

副市長 前市長に指摘が寄せられ、診療所職員、総務課職員、健康ほけん課職員で調査しました。当時の事務担当職員への聞き取り、年間の医薬材料費、患者数の推移、診療報酬等の推移の調査を実施しました。平

成21年度から25年度までの5年間の平均と平成26年度を比較した結果、患者数が約3200人減少していること、ジェネリック医薬品が出始めて現在より高い値段であったことなどを考慮すると、特に問題はないと考えたところです。

質 この件で、前市長に報告書を出されたか。

副市長 調査の結果時において特に問題はなかったことから、前市長に對しても口頭で報告をいたしました。

質 調査結果はA氏に報告されたか。されていないならその理由は何か。

副市長 診療所事務長から所長に報告を行っています。また、さらなる報告を求められたため、総務課職員が報告しています。私もお会いしたときに説明をいたしました。

質 市長へ就任後手紙が届けられているが、どのように判断し、対応はどうか。

市長 手紙が届いて初めて知りましたので、担当課を呼び、対応、調査をいたしました。これまで申し上げたような内容でありましたので、改めて福島診療所の所長にそのことを伝えるよう指示しました。実際に総務課職員が伝えに行きましたが、そういう報告なら要らないという回答があったというところまで聞いています。

一般質問



吉富
議員

○市政概況報告について

質 「住み続けたいを実感できるまちづくり」の移住の推進と空き家活用への支援について、平成30年度の移住状況と空き家状況についてお知らせください。

政策企画課長 移住相談会を東京で3回、名古屋で1回、福岡市で4回の計8回行っており、移住の相談を26組34件いただいています。また、移住相談会以外では長崎移住サポートセンターを通じて52件の相談を受けています。

昨年10月から設置したお試し住宅の利用実績は、3組8人となっています。

このような取り組みの結果、移住状況は62人となっています。

都市計画課長 空き家の状況としては、空き家を活用するための空き家バンクに8件の登録があり、1件が所有者の意向による取下げ、残り7件全てが賃貸による成約となっています。

空き家バンク登録物件の改修、家財道具や仏壇の処分費用の一部助成など、移住推進の受け皿となる空き家の活用については、今後とも積極

的に支援していきたいと考えています。

○松浦市職員研修について

質 平成29年度に若手職員による課題解決プレゼンテーションを開催しているが、その後、どうなったか、研修等々を行ってきたか、お聞きいたします。

政策企画課長 プレゼンテーションで最も評価の高かったグループが提案しました外国人観光客を呼び込める農漁業体験、文化交流の提供というテーマについて、より研究を深めるために先進地調査を実施し、最終報告書をまとめています。

その後、事業化に向けて、まつうら党交流公社と意見交換を行い、モデル事業についての具体的な検討が行われ、平成30年度に食と観光のまち推進課で実施した松浦市観光地域づくり推進業務において、提案した内容を盛り込んだ体験プランモニターツアーを実施しました。

この結果を踏まえ、現在、体験型のコンテンツ化に向けた検討が交流公社で行われています。

このほかに、「松浦市長の公務について」質問しています。

常任委員会の審査概要

総務委員会

【議案】令和元年度松浦市一般会計
補正予算(第2号) (関係分)

(歳入) 補正予算の金額12億199万2000円。このうち、国と県から松浦市への支出金が5億295万2000円(41.2%)、合併振興基金繰入金が3億7299万2000円(30.6%)、プレミアム付商品券売上金などの諸収入として2億388万6000円(16.7%)となっています。

(歳出) 多くが4月の人事異動による諸経費の増減でしたが、そのほか、志佐川下流域の地域や企業を対象とした災害ハザードマップ整備事業に1300万9000円、鷹島地域原子力災害避難道路等改修工事費として5000万円などが計上されました。

【議案】市有財産の無償貸付について

旧松浦市立田代小学校の土地(グラウンド)の一部2505㎡が西九州自動車道工事に係る現場事務所の用地として貸し付けられます。

文教厚生委員会

【議案】令和元年度松浦市一般会計
補正予算(第2号) (関係分)

現在の鷹島小学校及び中学校は、耐震基準を満たしていないため、中学校を併せた校舎の新築事業の予算が計上されました。完成は令和3年3月末予定です。

○鷹島小学校校舎新築事業

2019年度 4億815万9千円

2020年度 6億1607万8千円

○鷹島中学校校舎新築事業

2019年度 2億2545万1千円

2020年度 3億4018万9千円

議論の中では、なお一層の教育の充実を図ること。併せて安全に工事が行われるように指摘しました。

【請願】30人以下学級の実現と義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書採択に関する請願について

同請願について、願意妥当とし、採択するものと決しました。

産業経済委員会

【議案】令和元年度松浦市一般会計
補正予算(第2号) (関係分)

プレミアム付商品券業務委託料として1億7250万円が計上されました。(委託先は松浦商工会議所)

消費税、地方消費税の10%への引上げが低所得者・子育て世帯(0-2歳児)の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起・下支えすることを目的として、プレミアム付商品券の販売を行うための経費であり、実施に必要な経費(事業費及び事務費)を国が全額補助するもので、妥当と認めました。

長崎県畜産クラスター構築事業費補助金(養鶏)として2億6868万6000円が計上されました。国の畜産クラスター事業を活用し、鶏舎等を建設する事業主体(長崎県北松肉用鶏クラスター協議会)に対し国が事業費の二分の一以内の補助を行うもので(県、市の負担なし)、妥当と認めました。事業効果として、施設整備によって規模の拡大、収益の向上が図れる。バイオ微生物を活用し、悪臭の少ない鶏糞を生産し、良質堆肥の供給を行う。鶏舎構造をウィンドレス化することにより作業の効率化、鳴き声及び臭気による公

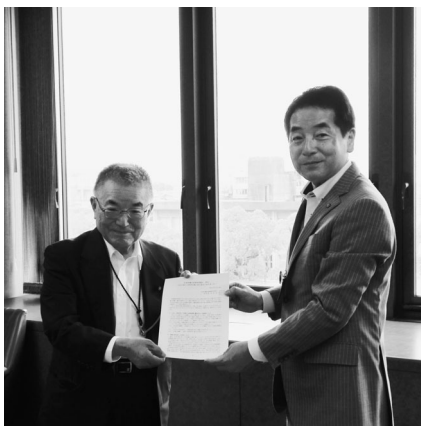
害の軽減が期待できる。規模拡大に伴い、研修生等を受入れ、後継者育成と共に雇用の確保が見込まれる等の説明を受けました。

その他各委員会の活動

【産業経済委員会】

市内企業(工業会加盟9社・水産業12社)との意見交換の結果を踏まえ、委員会として7項目に意見を取りまとめた提言書を6月14日に市長に手渡しました。

市が今後取り組むべき事項として、
①人手・人材不足への対応と地域産業の魅力向上への取組②外国人受入れへの対応③情報通信基盤の整備④電気料金の産地割引の実現⑤既存企業への優遇策と企業誘致⑥市職員の育成⑦財源に関する提言を行うとともに、市の政策について、市長と建設的な意見交換を行いました。



産業経済委員会提言

【文教厚生委員会】

6月5日に委員会を開催し、鷹島神崎遺跡に関する調査として、琉球大学国際地域創造学部 池田榮史教授より、「鷹島神崎遺跡と海外を含めた水中考古学調査の事例について」と題し、これまでの調査研究の歩みと成果、日本の水中遺跡保護の在り方、世界における水中遺跡への対応、今後に向けた課題について講演いただきました。

その中で、船の引き揚げを実現させるためには、松浦市が「国指定史跡鷹島神崎遺跡保存管理計画書」で定めた整備活用事業の中・長期計画に沿って、市の

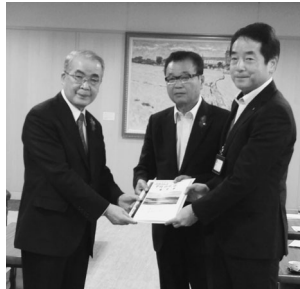
考えを国や県に示していくことが重要であるとの話がありました。本委員会として、計画を着実に推進できるように、今後も池田教授をはじめとする学識経験者などのご助言をいただきながら、行政と密に連携を取り合っていくことといたしました。



文教厚生委員会

県知事・県議会要望

5月29日長崎県庁において、市長、正副議長、地元選出県議会議員、各常任委員長、西九州自動車道整備促進特別委員長並びに関係各課長出席のもと、「松浦魚市場再整備への支援について」「松浦港（御厨地区）埋立地の緑地整備について」の2件の重点項目と「鷹島神崎遺跡の保存と活用について」「新福島大橋の建設について」など9件について、県知事及び県議会に対し要望活動を行いました。



県知事要望

議員表彰

6月11日に開催された全国市議会議長会第95回定期総会において、次の方が議員15年以上の表彰を受けられました。

久枝 邦彦 議員
崎田 廣美 議員



議会日誌

26日 委員会
◆議会運営委員会
◆全員協議会

7月

3日～5日

◆文教厚生委員会行政調査
（新潟県南魚沼市、十日町市）

7日～10日

◆産業経済委員会行政調査
（島根県隠岐郡海士町、岡山県津山市）

16日◆伊万里・平戸・松浦市議会・佐々町議会西九州自動車道建設促進協議会理事会

17日◆長崎県西九州自動車道建設促進協議会総会

18日◆広報特別委員会

18日～19日

◆全国離島振興市町村議会議長会総会

24日◆大分県豊後大野市議会行政調査来市

◆松浦鉄道自治体連絡協議会総会

26日◆伊万里・平戸・松浦市議会・佐々町議会西九州自動車道建設促進協議会総会

30日◆長崎県議会行政調査来市

30日～1日

◆議会運営委員会先進地調査
（埼玉県飯能市、愛知県石倉市）

31日◆西九州北部地域開発促進協議会総会

（伊万里市）

6月

5日◆文教厚生委員会

7日◆議会運営委員会

10日～11日

◆県選出国會議員への要望活動

◆全国市議会議長会定期総会

14日◆6月市議会定例会

14日◆産業経済委員会提言

17日◆広報特別委員会

19日◆議会運営委員会

◆西九州自動車道整備促進特別

議案等の審議結果		
条 例	○松浦市手数料条例の一部改正について	可決（多数）
	□松浦市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について	可決（全員）
	□松浦市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部改正について	可決（全員）
予 算	◎令和元年度松浦市一般会計補正予算（第2号）	可決（全員）
	◇令和元年度松浦市工業団地造成事業特別会計補正予算（第1号）	可決（全員）
	◇令和元年度松浦市工業用水道事業会計補正予算（第1号）	可決（全員）
その他	※専決処分の承認について（松浦市税条例等の一部改正について）	承認（全員）
	※専決処分の承認について（松浦市国民健康保険税条例の一部改正について）	承認（全員）
	○あらたに生じた土地の確認及び字の区域の変更について	可決（全員）
	○市有財産の無償貸付けについて	可決（全員）
	○損害賠償額の決定について	可決（全員）
	◇損害賠償額の決定について	可決（全員）
	◇松浦市地方卸売市場松浦魚市場再整備 荷捌き所Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ工区新設工事（電気）請負契約の締結について	可決（全員）
	◇松浦市地方卸売市場松浦魚市場再整備 荷捌き所Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ工区新設工事（機械）請負契約の締結について	可決（全員）
請 願	□30人以下学級の実現と義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書採択に関する請願について	採択（全員）
議員提出議案	※30人以下学級の実現と義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書の提出について	可決（全員）
（注）文頭の記号は審査の付託先を表しています。 ◎・・・各常任委員会へ分割付託 ※・・・委員会付託を省略し全員審査 ○・・・総務委員会 □・・・文教厚生委員会 ◇・・・産業経済委員会		

4月臨時会

4月25日に臨時会を開催し、議案4件と同意案1件を審議しました。
審議の結果は次のとおりです。

- 専決処分の承認について（平成30年度松浦市一般会計補正予算（第9号））・・・可決
- 平成31年度松浦市一般会計補正予算（第1号）・・・可決
- 平成31年度松浦市青島診療所事業特別会計補正予算（第1号）・・・可決
- 松浦市地方卸売市場松浦魚市場再整備 荷捌き所Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ工区新設工事（建築）請負契約の締結について・・・可決
- 松浦市名誉市民の称号贈呈について・・・同意

編集後記

今回の議会で特筆すべきは、何といても、市政一般質問の登壇者数でしょう。議長・副議長を除く、14名の全ての議員が登壇し、市政を質したという点です。ある新聞にも「市民、活発な論議に期待」と掲載されておりました。

皆様におかれましては、是非ともこの議会だよりにお目通しいただければ幸いです。

（結）

広報特別委員会

委員長 嶋田 廣美

委員 谷口 一星

委員 川下 高広

委員 安江 結子

副委員長 和田 大介

委員 山崎 誠也

委員 武辺 鈴枝